

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【公表番号】特表 2006-500205 (P2006-500205A)

【公表日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報 2006-001

【出願番号】特願 2004-537675 (P2004-537675)

【国際特許分類】

B 0 1 J 19/00 (2006.01)

G 0 1 N 35/02 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 19/00 3 2 1

G 0 1 N 35/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 18 日 (2006.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体不透過性の可撓性の封止されたパウチ (20) と、前記パウチ (20) 内の材料特性の可逆測定をリアルタイムで *in situ* で行う分析センサ (30) とを含むポリマー製造のモニター用反応装置 (10) であって、前記分析センサ (30) が、全ての反応物、中間体、及び生成物を含む前記パウチ (20) の内容物と物理的に接触する応答要素 (12) と、処理要素 (16) と、前記応答要素 (12) と前記処理要素 (16) との間で情報を伝達する伝達手段 (18) とを含み、前記反応装置 (10) により、前記パウチ (20) 内の前記ポリマーの製造に関与する材料の処方、ブレンド、および合成の間に生ずる、全ての反応成分、中間体および生成物の特性を可逆的にモニタリングする、ポリマー製造用の反応装置 (10)。

【請求項 2】

前記センサが前記パウチと一体接続されているか、又は、前記センサが前記パウチ内にあり、前記パウチに一体接続されていない、請求項 1 に記載の反応装置。

【請求項 3】

前記応答要素が、熱電対、インターデジタル変換器および音響センサからなる群より選択される、請求項 1 又は 2 に記載の反応装置。

【請求項 4】

前記パウチ内の材料が一種以上の有機材料を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載された反応装置。

【請求項 5】

a) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の反応装置であって、そのセンサとその反応装置が前記パウチ内の前記材料の特性をモニタリングするために測定プロトコルで操作される、反応装置を提供する工程と、

b) 前記パウチを制御された環境に露出して、前記反応成分を相互作用させて、ポリマーの処方、反応ブレンドおよび生成物のうちの 1 つ以上を形成する工程と、

c) 前記センサの前記応答要素と前記処理要素に前記パウチ内で生じた材料特性の変化をモニタリングさせる工程と、

を含む ポリマー製造における変化をモニタリングする方法。